

6.重症入院患者の手術全身麻酔件数

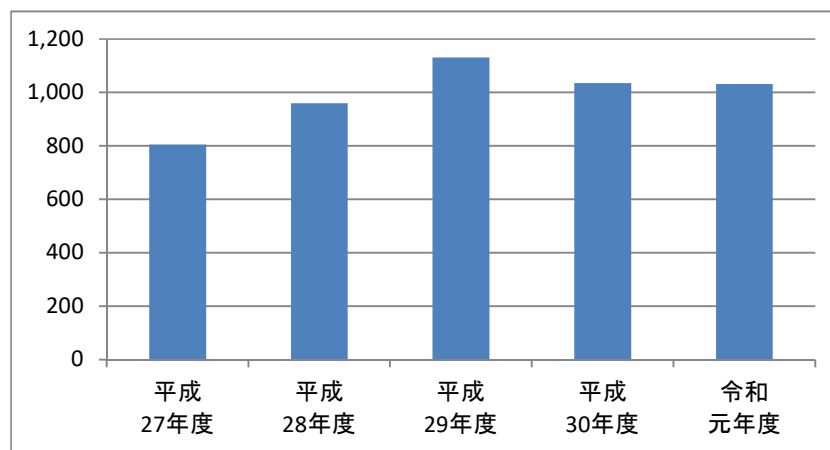
項目の解説

重症な患者の手術を行うことも国立大学附属病院の社会的責任の一つといえます。重症な患者に全身麻酔をかけて手術する場合は、生命の危険を含む様々な危険が伴います。従って、手術中のみならず手術前後で十分に患者を観察し、慎重な麻酔を行える体制が必要になります。この指標は麻酔管理の難しい重症患者の手術ができる麻酔能力の高さともいえます。

当院では、年々増加する重症患者の手術に十分対応できるように体制を整えています。

当院の実績

平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
805	960	1,130	1,035	1,031

 (件)

定義

医科診療報酬点数表における、「L008 マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔(麻酔困難な患者)」の算定件数です。



九州大学病院

KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL